

2015年 年頭にあたってのご挨拶



CEMA会長
木下真生
2015年1月26日

ご挨拶内容

新年にあたり

1. CEMA会長として業界メディアに発信したこと
2. 新年を迎えての、抱負、皆さまと共に
やっていきたいこと
3. 今後、歩んでいく方向性

1. 業界メディアに発信したこと

- ※ **CEMA内部革新、さらなる充実化への改革活動の継続**
 - 会員増強、充実化 ⇒ 継続して活動
 - 5部会活動の推進
 - ホームページの活性化、フル活用(AMG活用)
⇒ 全会員会社から1名を登録
 - CEMA統計の精度UP、情報発信の迅速化
 - シンポジウムの内容刷新、全国ネット化、動員拡大
 - 会計 ⇒ NET BANKING ⇒ より合理化した会計方式へ
 - 新運営委員会のフル活用 ⇒ 迅速な意思決定
- ※ **所属し、共に活動することにより、より大きな意味を見いだせるCEMAに**
 - 活動の目的を明確化と会員間での共有
 - 個々の私企業としての利益追求活動とは一線を画す
社会(業界)貢献活動としての意義
- ※ **『塗装なくして、物づくりなし』**
 - ⇒ 塗装は物づくりの仕上げを担う最重要Finishing Process
 - ⇒ 世の中への啓蒙
 - ⇒ 塗装産業全体のイメージアップ、地位向上活動の推進

3

2. 抱負と皆さまと共にやっていきたいこと

- ※ **静から動へ。発信し、活動し、旗を振るCEMAへ**
- ※ **『塗装なくして、物づくりなし』**
この短い文言が日本の物づくり産業の隅々まで浸透し、
塗装産業に従事する人たち全てが誇りを持って日々仕事して
いく基盤を作っていく
- ※ **塗装に関連したあらゆるビジネス分野をカバーしているCEMA**
その間口の広さを『広く浅く』に留めず、『広く深く』発展させ、
塗装関連団体の重要な一団体として今後も活発な活動を
展開していく。

4

- ※ 2016年には40周年を迎え、その記念行事を一つの大きな区切りとし、次の20年、30年、40年に、さらなる発展のため布石を打っていく。
- ※ CEMA発足時の基本理念を、その運営の根幹として奉じ、かつ、その上に時代の流れ、要求、変遷を取り入れながら柔軟なる発展対応を図っていく。

1970発足時目的

- ① 会員相互の親睦を図る
- ② 正しい出荷統計を作成する

その後(20年)・・・バブル崩壊期を経て、21世紀のビジョンとして

- ① 塗装(技術)を通じて、新しい価値創造をし、グローバルな活動を展開
- ② 塗装(技術)を追求し、作業環境と地球環境の保全に尽力
- ③ 会員会社は相互の信頼関係を深め共生と共存を自らの手で切り拓く

5

- ※ そして、現在、これらに加えて

塗装産業の重要性を、工業会のみならず一般社会にも強く啓蒙し、塗装業界という殻に閉じこまらず、より大きな世間全般に向けての『地位向上活動』、『塗装重要性啓蒙活動』を行い、自らの日々を捧げる仕事により大きなプライドと誇りを持てるものにおいていくという地殻変動を起こしていきたい。その様に志向している。

この大きな動き、流れに関してはCEMAの全員の皆様のみならず、本日ここにご来賓で列席いただいた関係諸団体の長の皆さま方とも今後さらに突っ込んだ形での話し合いができればとの認識です。

以上、年頭にあたり、
CEMA会長としてのご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

6

1月26日(月)	CEMA新年互礼会 (名古屋 名鉄ニューグランドホテル)	•本日
1月28日(水) ~30日(金)	ASTEC展示会 (東京ビックサイト)	•CEMAより内外合わせ23社参加予定 •塗装ワールド演出、塗装に対する啓蒙
2月13日	CEMA理事会 シンポジウム委員会 運営企画委員会 (東京八重洲)	•2014 Review、2015活動方針、 40周年行事方針、シンポジウム開催 方向付け、その他各種事項を討議決定 ⇒結果はホームページで報告予定
4月中旬	春の交流会	•京都で花見(?)
4月24日	各部会開催	•実りある部会となる様、 各部会長のリーダーシップに期待
5月22日	理事会	•第39回定時総会の審議事項まとめ
6月19日	第39回CEMA総会	